

鎌倉市市民活動センター指定管理者 自己評価シート兼実績評価シート

施設名	鎌倉市市民活動センター(鎌倉・大船)
所在地	鎌倉センター: 鎌倉市御成町18-10 大船センター: 鎌倉市台1-2-25
指定管理者	名称: 特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議 代表者: 石川 勝己 住所: 鎌倉市腰越五丁目16-12
担当課	市民防災部地域のつながり課
指定管理期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
評価対象期間	令和4年1月1日~令和4年3月31日

評価内容				
評価 項目 番号	指定管理者自己評価		担当課による評価	
	評価	根拠	評価	根拠
1	B	空間と機能の提供は支障なく業務を遂行できた。会議室の夜間利用、ミーティングスペースの新規開拓についてはコロナ禍の状況に鑑み積極的な促進を控えた。	B	支障なく業務を実施している。 ミーティングスペースの新規開拓については、施設のオーナーから利用促進に関する相談も寄せられているとのことなので、コロナ禍においても使用できる施設情報の更新と充実を図っていただきたい。 令和4年度は会議室情報だけでなく、事務所機能やオンライン会議のできる空間など、コロナ禍での新しい活動様式における場の情報収集に期待している(『令和4年度指定管理業務事業計画書』『エ 市民活動にとって有用な情報の収集に関すること』)。
2	B	機材の利用は特段支障なく業務を遂行できた。	B	支障なく利用受付事務を実施している。
3	A	リニューアルしたサイトを活用した団体の活動やイベント告知などの広報支援を積極的に行った。特に1/23 開催の利用登録団体懇話会では団体だけでなく自	B	計画通りに情報収集及び事業を実施している。前回実績評価で指摘しているように、団体のニーズ調査を踏まえた支援の方向性を月次報告で報告して

		<p>治・町内会、社協の参加もあり、多様なセクター間で地域の防災に関する有用な情報交換を行うことができた。</p>		<p>いただく部分については、具体的な方向性の記載がなく不足している。感覚的なニーズの把握だけでなく、講座やその他事業に伴うアンケートを分析し、支援の方向性を形にすること。</p> <p>また、これまで収集した情報の集積と分析は中間支援を行う上で重要となる。集積した情報を令和4年度も活用できるよう整理を行うこと。</p> <p>評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p>
4	B	<p>メールマガジン、他のセンターサイト、送付資料、Facebookなどで情報収集活動を怠らず継続できた。</p>	B	<p>計画通り、情報の収集を行っている。</p>
5	A	<p>3ヶ月で30件のSNS(Facebookによる)投稿を行った。鎌倉FM(月1回ペースで計3回)、タウンニュース(不定期で計2回)での団体紹介コーナーの掲載、神奈川県新聞での記事掲載などを通じて一般市民に市民活動の広報を行った。</p> <p>3月発行のパートナーズでは懇話会のレポート、令和4年度から始まるつながる鎌倉エール事業の特集を組み、チラシの同送とあわせて事業認知を促進した。</p>	A	<p>様々なメディアを活用した情報の発信に力を入れていることが伺える。</p> <p>伝えたい相手に合わせた情報の発信となるよう、工夫を継続していただきたい。既存団体に有用な情報や市民活動の参加のきっかけになる効果的な情報発信を期待している。</p>
6	A	<p>団体向けの指定管理講座として「経理のキホン」「Zoom ホスト講座」を開催し、いずれも参加者の高い評価(満足度)を得た。</p>	B	<p>講座を計画通り実施し、一定の評価を得られたが、評価Aの基準に値する特筆すべき成果は認められないため、B評価とする。</p> <p>令和4年度における学習の機会の提供においては、広く希望者が参加できるよう、講座の周知は工夫していただきたい。</p>

7	A	<p>初めての試みとして、成人の日の式典会場でセンター登録の学生団体のうち3団体の広報チラシを合計300部配布し、新成人に市民活動への参加を呼びかけた。</p> <p>3/22～25に市内の就労支援施設で「森のプラットフォーム」の活動を伝えるイベント、展示会を開催し、一般市民の来場者に対して市民活動に関する認知を広めた。</p>	A	<p>成人の日の式典でのチラシ配布は、若年層への市民活動参加促進につながるとともに、学生の市民活動団体の活動PRにつながったと見受けられる。当初、この時期に計画の無かった事業を積極的に実施するとともに、若年層の取り込みを図っていることが伺える。今後も継続した参加機会の提供を期待している。</p> <p>「森のプラットフォーム」のコーディネートに関する部分は評価項目8に記載する。</p>
8	A	<p>2/19に神奈川県と協働で「企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 鎌倉」を開催、団体と企業、自治・町内会と企業が地域防災をテーマに意見と情報の交換をする機会を作った。開催後に参加者同士のより深い交流を求める声が多数寄せられたためマッチングを行なった。</p>	A	<p>県との協働で実施したパートナーシップミーティングを計画通り実施した。運営上の工夫が必要とみられる部分はあったものの、各種団体の交流の場となった。アンケート内容を分析・整理し、今後どのような手法・テーマによる交流が効果的であるのかを検証し、反映させること。</p> <p>「森のプラットフォーム」のコーディネートについては計画のない項目であったものの、コロナ禍における施設とのマッチングを実現させ、展示会を成功させたことは特筆すべき成果と言える。</p>
9	B	<p>個人のボランティア希望者の来訪が増えたため、団体を紹介する対応が増加した。これまでの相談実績などを元に電話相談の際に紹介できる「つなげ先」のリストアップを進めている。</p>	B	<p>相談実績を基に、それ以降の相談対応を円滑に行えるよう工夫していることが伺える。個人ボランティア相談のつなげ先のリストアップとともに、一般相談QAを有効活用していただきたい。</p>
10	B	<p>協働事業促進の一環として、パートナーズでの特集記事掲載やメール発信などを通じて、令和4年度から始まる「つながる鎌倉エール事業」を登録団体へPRする活動を行った。</p>	B	<p>令和4年度から開始するつながる鎌倉エール事業の周知に努めており、新年度からの協働事業の推進に向け準備を進めていることが伺える。</p>

11	B	業務の変更内容は随時スタッフ間でメール、LINE を使い、必要に応じてスタッフ会議内でミニ研修会を開くなどして共有している。Zoom 会議の機会が増えてきたため団体からの質問相談に対応できるようにスタッフが「Zoom ホスト講座」を受講した。	B	業務効率を向上させるよう努めていることが伺える。
12	B	特記事項なし。	B	イベントや講座などは実施するだけで終わるのではなく、事業ごとに実施後の分析と整理を行い、次回以降の同様の事業を実施する際にどのように準備・実行すればよいのかを検証すること。 概ね前四半期と同等の水準のサービスを提供しているため B 評価とする。
総合評価				
担当課による 総合評価※	B	総評	<p>「森のプラットフォーム」は、第2四半期に開催した懇話会において、団体のネットワークづくりをセンターがコーディネートした形で結成された、一定の活動領域を同じくする団体の交流の場である。したがって、プラットフォーム上で活動するのはこれに所属する団体であり、センターとしての位置づけは、この活動のコーディネート及びマッチング支援等となることに注意すること。</p> <p>年間を通じて、事業計画ごとに良い評価とそうではない項目の差が生じている。市民活動の参加促進や交流機会の提供等に関しては良い評価となる一方で、団体の情報収集や連絡調整に関しては自己評価と担当課による評価に差があった。</p> <p>良い評価となっている項目については、ぜひ今後とも継続していただきたい。また、そうではない項目については、指摘内容を確認するとともに、原因を分析し、次の指定管理期では該当部分を改善することに期待している。</p> <p>また、指定管理申請時及び選考時に提出した事業計画及び四半期毎に実施する連絡調整協議会等において事業計画の報告を行った項目については責任をもって実施すること。法令等に基づき、指定管理者が受託して実施している指定管理事業であることを再確認するとともに、次の指定管理期においてはこの部分をしっかりと区別して事業計画の遂行にあたること。</p>	

※C=1、B=2、A=3とし、平均点により算出する。C:1 以上 1.7 未満 B:1.7 以上 2.4 未満 A:2.4 以上 3 以下

評価の指標

※評価点の基準を満たすことが客観的に判断できる資料等をできる限り提示すること。

例1: 番号1 A評価「オンライン予約を可能にした。」の場合

→客観的に判断できる資料として、「オンライン予約ページ」を提示する。 …等。

B評価、C評価→利用者集計表を提示。 …等。

例2: 番号3 A評価「既存の市民活動団体の情報について、一斉に各団体に確認作業を行い最新にした。」

の場合→「各団体への通知文及び更新前後の団体情報一覧」を提示する。 …等。

B評価、C評価→登録団体一覧表(ダイレクトリ)を提示。 …等。

番号	評価項目	評価点の基準
1	ミーティングスペース、作業スペースなどの空間と機能の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、適切に対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C: 問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
2	コピー機、簡易印刷機などの機材の利用受付に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C: 問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
3	市民活動団体の団体情報の収集に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C: 十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>

4	市民活動団体の活動にとって有用な情報の収集に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C: 十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>
5	情報誌やインターネット、SNS等を活用した3、4等の情報の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: パートナースの発行(発行のタイミングであった場合のみ)、地下道ギャラリー等(展示のタイミングであった場合のみ)、ホームページ、SNSにより、利用者にとって有用な情報を効果的に提供した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
6	市民活動団体の活動にとって有用な知識・技術を習得するための、学習や研修の機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 研修対象者が明確であり、事業計画に従って市民活動の参考になる学習や研修の機会の提供、又は企画を行い、参加者から一定の評価が得られた。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
7	市民活動への参加希望者への情報提供や、市民活動への参加の機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 市民活動団体の活動情報(イベント等)の効果的かつ的確な発信による情報提供、市内の学校や近隣大学と連携した若年層のボランティア活動支援、市民活動フェスティバル(開催のタイミングであった場合)の活用等により、市民活動への参加の機会を創出した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>

8	市民活動団体が、各種団体(市民活動団体や自治・町内会、企業等)と交流及び連携する機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 日々の相談業務に係るコーディネート、事業計画に沿った懇話会の開催、市民活動フェスティバル(開催のタイミングであった場合)の活用等により、各種団体と連携、交流する機会を提供した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
9	市民活動に関する相談に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 電話・窓口相談を適切に記録し、スタッフ間で共有するとともに、相談事例の整理・分析や専門家相談の実施により、相談業務の充実を図った。また、相談業務に係る研修を実施し、スタッフのスキル向上を図った(実施のタイミングであった場合)。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
10	市民活動団体と市の相互提案協働事業及び協働事業全般の促進に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 協働事業提案に係る講座の開催や事前相談の充実等、協働事業の促進に寄与する事業を行った。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
11	その他(スタッフのレベルアップのための研修、学習会を開催した。)	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 事業計画に沿って研修等を開催した。また、研修等を通じてスタッフのレベルアップが図られた。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
12	その他	<p>A: その他、業務改善に努め、特筆すべき効果があった。</p> <p>B: 前四半期と同等の水準のサービスを提供した。</p> <p>C: Bの基準に満たなかった。</p>

- (1) 月毎の出勤表、人員配置計画 …等。
- (2) スタッフ一覧表、各スタッフの保有する資格・経験がわかるもの(履歴書等) …等。
- (3) 実施済みの研修の記録 …等。
- (4) 業務日誌(市に報告すべき事項が漏れていないか等) …等。
- (5) 目視・口頭確認(個人情報の保管場所が適切か、パソコンにパスワードをかけているか等) …等。
- (6) 業務日誌 …等。
- (7) 点検、修繕記録 …等。
- (8) 各種報告書 …等。
- (9) 緊急連絡網 …等。
- (10) 業務日誌 …等。
- (11) 財務諸表 …等。
- (12) 業務日誌 …等。
- (13) 目視・口頭確認 …等。
- (14) 目視・口頭確認 …等。
- (15) 目視・口頭確認(電気を消すようポスターで呼びかけているか等) …等。
- (16) 施設利用集計表 …等。
- (17) 帳簿、請求書綴 …等。
- (18) 収支予算書、収支報告書 …等。
- (19) 収支報告書、帳簿 …等。